

◇医師からのコメント抜粋◇(一部割愛・編集しています)

■「若年者の喫煙を減らすために」

【以前喫煙していた/1,200 円】

喫煙関連で起こる疾患に対する医療費削減にはとにかく喫煙者をへらすことと、若年者、特に 20 歳以下で喫煙し始める人を減らす意味でもぜひとも早期の値上げを希望します。(50 代 呼吸器科)

【喫煙したことがない/1,000 円】

喫煙を開始しなくてすめば、その後ニコチン依存症に陥るリスクは減少すると思います。若年者を守るには、タバコの値段を上げるのが一番。医療費がのちのち掛かることを考えても保険代として、頂いておくという考え方もあると思います。(30 代 代謝・内分泌科)

【喫煙したことがない/1,300 円以上】

害があると確実に分かっているものに対して、それを嗜好するにはそれなりの対価が必要である。また、高額商品にすることで、若年例者が安易に手を出すことがなくなるものと思われる。(40 代 循環器科)

【以前喫煙していた/1,300 円以上】

タバコと健康被害の関連性は明白である。医療費増大が国の大きな問題となり、予防医学に力を注いでいる今日、国民自身の健康維持への努力は不可欠である。その努力を怠っている喫煙者には、本来なら健康保険料率の上昇というペナルティがあっべきであるが、制度上実施困難である。したがって、タバコ価格を高く設定するのが妥当であると考えます。また、高価であれば、若年者が興味本位で喫煙を始めるケースの減少も期待できる。(40 代 内科)

【以前喫煙していた/1,000 円】

たばこによる健康被害、それによる医療費の増大を考えるとたばこの値段を上げることは良いことと思う。また煙草の値段が上がることで、若年層特に10代の喫煙率が下がることが期待できる点でも良いことだ。(50 代 消化器科)

■「医療費削減につながる事が重要」

【以前喫煙していた/1,300 円以上】

総医療費の10%(約3.5兆円)が”たばこ関連疾患”に費やされていて、他の予防困難な止むをえない疾患の正当なコストが圧迫されている。予防可能なタバコ関連疾患を減らすためにはそれらのコストをカバーし尚喫煙者を減らせるインパクトのある値上げが必要である。(70 代 消化器科)

【以前喫煙していた/1,000 円】

外国では 1000 円以上であることと、喫煙による医療費がすべての医療費の 30%くらいを占めているので、医療費削減の意味からも 1000 円にすべきです。中毒に陥っている人が反対しているのは無視すべきです。生産農家の話を出してくるなら、大麻に近いものを産出して生計を立てること自体おかしいのです。(50 代 外科)

【喫煙したことがない/1,000 円】

価格を上げて喫煙する人が減少する割合、肺癌などの健康被害で発生する医療費、ポイ捨てでかかる清掃費、気分転換による作業効率の上昇、税金など総合的に判断し、最も適正となる価格を計算すればよい。(30 代 神経内科)

### ■喫煙者の医療費負担について一言

【喫煙したことがない/1,000円】

喫煙による経済損失は非常に甚大で、今後の医療経済の圧迫因子となっていると思います。喫煙者と非喫煙者での、自己負担率に差をもうけるのも一つだと思います。(20代 呼吸器科)

【喫煙したことがない/1,000円】 自分の意思でたばこを安く吸って肺癌になって、その方々の医療費を他人が少しでも負担しなければならない今のシステムが少しおかしい。(30代 内科)

【喫煙したことがない/1,000円】

たばこによってかかる医療費は、喫煙者に全額負担させるべきだ。(50代 整形外科)

【以前喫煙していた/1,000円】

タバコの税金には健康税という目的税を設定すると良いと思います。税金を全て医療費に充てることにすれば、非喫煙者に比べ医療費が多くかかると想定される喫煙者も医療費をその分払っていることになり、後ろめたさを持たずして喫煙でき、また喫煙者が少なくなり、さらに医療費の不足も改善され一石三鳥の効果が期待されると思います。(50代 外科)

【喫煙したことがない/900円】

喫煙に伴う医療費のうち保険相当分を自己負担するという考えから(50代 外科)

### ■「自分もやめたい」

【喫煙している/1,300円以上】

値段が高くなれば私も煙草をやめますね。(30代 精神・神経科)

【喫煙している/500円】

これ以上値上げしたら、禁煙します。(30代 外科)

### ■「タバコの害はなぜ軽視されるのか？」

【喫煙したことがない/1,300円以上】

放射性物質の付着については風評被害を助長する勢いで規制するのに、たかだかこの程度の規制しかタバコにはないのが不思議でならない。(30代 消化器科)

【以前喫煙していた/1,300円以上】

喫煙は今やあらゆる病気の基であることが証明されており、我が国の医療費を食いつぶしている元凶である。タバコの価格をあげるよりも、麻薬並みに禁止するべきと考える。(70代 脳神経外科)

### ■「医師の喫煙は言語道断」

【喫煙したことがない/1,000円】

少なくとも医師をはじめとする医療関係者は喫煙者は資格取得不能として欲しい。(30代 アレルギー科)

【以前喫煙していた/1,200円】

税収が減ろうが医療費の大幅な削減が可能ですし、何しろ病人を減らせるのですから。政治家や医師や弁護士など地位が上にあろうと思われている人たちが喫煙をしているから世界で禁煙が進まない。特に日本では。医師は喫煙すると医師免許剥脱するくらいの厳しい対応が必要では無いでしょうか。嗜好品扱いにしていることがおかしいですよ。喫煙で良いことは皆無でしょう。(50代 放射線科)

■「JTにも…」

【喫煙したことがない/1,300円以上】

たばこ増税には大賛成です。JTには、たばこ関連疾患の医療費を健康保険機構の代わりに支払っていただくべきです。(30代 循環器科)

【喫煙したことがない/1,300円以上】

タバコと疾患の関係は明らかであり、世界が認めているのに日本が認めないのはおかしい。価格を変更しないのなら、タバコが原因である疾患に対してJTが医療費を負担する方針であればいいのではなかろうか。(30代 腎臓内科)

【以前喫煙していた/1,000円】

やや高めにしました。それでも吸う人はいます、恐らく税収は減らないでしょう。ただJTの売上個数が減るので運送業者・葉タバコ耕作農家・小売業者への配慮は必要です。原発の様にいずれ無くせばよいのです。10数年後に税収を上回る医療費の減少が期待できます(60代 循環器科)

■「一本あたり〇〇円」「〇〇に相当」

【以前喫煙していた/1,000円】

一本あたり50円でのばら売りも考慮(30代 消化器科)

【喫煙したことがない/1,300円以上】

タバコ1本と缶コーヒー等の1本とが同じ価格であるべき。気分転換効果といい、1本を吸い切るあるいは飲み切るのに要する時間といい、ほぼ同等と解釈するべき。となれば、タバコ1本=120円~150円が適正価格。1箱=2400円~3000円でしょう。(40代 皮膚科)

【以前喫煙していた/1,000円】

健康のためには高級品の値段でいいと思う(30代 内科)

【喫煙したことがない/1,300円以上】

一本100円くらいでよいのではないか。(30代 神経内科)